

例年になく雪の少ない冬が終わり、いつもの時季なら満開となる校舎の周りの桜は、入学式を終えた今頃になってそのつぼみを開き始めました。

神石小学校は昭和 40 年 8 月、福永・古川・高光の 3 小学校が統合して開校して以来、今年度で 55 年目を迎えました。校区は四季折々の自然美に満ち溢れた帝釈峡国定公園、緑豊かなスコラ高原、紅葉の美しさを誇る神龍湖など、自然体験学習をするのに恵まれた環境にあります。また、校庭の東南には、八尾城址公園が隣接し、生活科や総合的な学習で利用する他、マラソンコースや冬の雪遊び場としても使われ、素晴らしい学習活動の場となっています。

本校は特色ある学校教育活動として、全校児童による伝統の「トランペット鼓隊」・心を育て豊かな生き方の基盤となる「読書活動」の充実・生活科及び総合的な学習の時間を中心とした仲間とともに協働的に学ぶ地域学習を行っています。本年度は、研究テーマを『一人一人が課題意識を持ち、主体的・協働的な学びを創る子どもの育成～生活科・総合的な学習の時間及び算数科を中心に、自ら課題を設定し、協働的に学び合う学習を通して～』と設定し、総合的な学習の時間と各教科単元の関連を図りながら「課題発見・解決学習」を展開していく学習活動の研究を進めてまいります。

先日 9 日の平成 31 年度入学式では、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、10 名の 1 年生を迎えることができました。今年度は全校児童 66 名と教職員数 16 名でのスタートとなりました。

広島県版「学びの変革」の全県展開 2 年目となり、これまで本校で取り組んできた「主体的な学び」に向けての実践をもとに、より教育活動の質を向上させ効果的な取組にすることで、必要な資質・能力の向上に着実につなげていく必要があります。そのために、本年度は「主体的な学び」で目指す姿と、本校での「めざす子ども像」（「かしこい子」「たくましい子」「さわやかな子」）を関連させ結び付けるとともに、すべての教育活動の目標を「めざす子ども像」の視点で捉え直しながら進めています。また、教職員と児童の間で目標の共有化を図っています。その合言葉が『神石 I N G ~自分を磨き続ける~』です。神石小がめざす子ども像に向け、絶えず成長し続けていくことを願い、今年度も更に学びの変革を推進してまいります。

そのため、教職員自身も限られた時間の中で、教師の専門性や人間性を高め、子どもたちに真に必要な総合的な指導を持続的に行うことのできる状況を作る、いわゆる「学校における働き方改革」を推し進めます。そして、子ども一人一人のよさや輝きを見つけ、さらに磨き、輝かしながら、神石小の子どもたちの学びに向かう意欲を育ててまいります。保護者、地域の皆様、今年度もご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



神石 I N G ～自分を磨き続ける～

< 神石小の合言葉 >

平成 31 年 4 月 神石小学校長
爲平 祐嗣